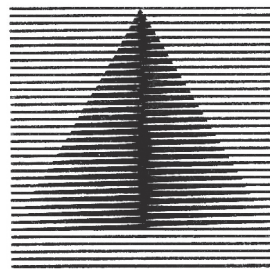


教育実践総合センター

研 究 紀 要

第 60 号



2025年

山 口 大 学 教 育 学 部
附属教育実践総合センター

目 次

学部附属共同研究

幼児理解への一歩をどう踏み出すか

～プレ体験を通じた中学生の振り返りの構造化～

藤井 志保・堤 健人・長谷 和久・川崎 徳子・星野 裕之・森永 八江
西尾幸一郎・張替 咲子・徳光 慧・尾川 真子 …… 1

山口大学施設内における美術作品展示プロジェクト

（山口大学教育学部・附属学校〔山口・光地区〕）

中野 良寿・平川 和明・中村 賢太・藤井 里奈 …… 13

教員と大学生は道徳科の授業にどのようなイメージをもっているか

沖林 洋平・池永真依子・中川 穂・藤永 啓吾・西尾幸一郎・佐伯 英人 …… 21

合唱活動の充実とwell-beingに関する研究 2

－尺度モデル構成・調査結果の分析を通して－

高橋 雅子・沖林 洋平・白地めぐみ・藤原 由佳・原田 美穂 …… 33

生活科・総合的な学習の時間の取組の充実を図るための附属学校教員と大学教員の

協働体制の構築（その4）

藤上 真弓・小田 泰督・徳永 真衣・久保田大貴・河村 拓哉
霜川 正幸・佐伯 英人 …… 41

メタ認知的変容を促す国語授業の開発

坂東 智子・澄川 佳穂 …… 53

小学校中学年児童の体力と形成的授業評価を高める鬼ごっこを用いた体育授業の実践

青山 翔・木田 雅大 …… 63

教育実践研究

押しばねを使った実験に関する一考察（その1）

－中学校理科の第1学年「力の働き」において－

田中 聡・佐伯 英人 …… 69

押しばねを使った実験に関する一考察（その2）

－中学校理科の第1学年「力の働き」において－

田中 聡・佐伯 英人 …… 79

アジアの近代における美術と教育の独自性について ー東南アジアと東アジアの例ー	福田 隆真 ……	89
幼児教育・学校教育における創造的造形教材について	西村 優子・福田 隆真 ……	97
秋吉台地域のお土産商品開発Ⅰ ープロジェクト型デザイン教育を通してー	平川 和明・中野 良寿 ……	107
学校と地域の協働による学びの質の向上 ー地域連携を活用した組織力・教育力の強化をめざすー	白石 真也・松田 靖 ……	117
生徒がコミュニティ・スクールの運営者に育つ ー地域に開かれた生徒会活動を通してー	井村 真規・坂本 哲彦 ……	127
美術教育における立体・空間・環境と造形活動について	足立 直之・福田 隆真・難波 彰人 ……	137
小学校図画工作科の現行教育課程における授業改善の視点	佐々木真治・福田 隆真 ……	143
コミュニティ・スクールにおける子どもの学びと育ち ー教育課題解決に向けた教育委員会とコミュニティ・スクール経営者のリーダーシップー	門出 知・静屋 智 ……	151
「関わる力」を育む小中一貫教育の推進 ー児童生徒の主体性に焦点を当ててー	野母 佳澄・静屋 智 ……	161
学校評価に基づく特別活動のカリキュラム・マネジメント ー「チャレンジプロジェクト」の設計に着目してー	小杉 進二・齊郷 拓恵 ……	173
英語学習アンケートから見える英語学習のつまずき（１） ベネッセおよびGMOの英語学習調査結果からわかること	藤本 幸伸・小川 弘敏 ……	181
子どもの姿に基づく保育を言語化する園内研修のための支援	中島 寿子 ……	193

STEAM教育を取り入れた美術科の授業実践研究

中村 賢太 …… 203

特別支援学校における自閉症生徒に対する報告言語行動の促進

ーインリアルの手法と生徒の興味関心を活かした選好活動を通してー

大塚 譲介・須藤 邦彦 …… 211

Bulletin of the Integrated Center for Education Research and Training
2025.9
CONTENTS

Undergraduate Affiliated Joint Research

First Steps toward Understanding Young Children:

Structuring Junior High School Students' Reflection through Pre-Experiences

FUJII Shiho, TSUTSUMI Kento, NAGAYA Kazuhisa, KAWASAKI Tokuko, HOSHINO Hiroshi
MORINAGA Yae, NISHIO Koichiro, HARIKAE Sakiko, TOKUMITSU Satoshi, OGAWA Mako 1

Project for the exhibition of art works in Yamaguchi University facilities

(Yamaguchi University, Faculty of Education, Affiliated schools [Yamaguchi and Hikari Districts])

NAKANO Yoshihisa, HIRAKAWA Kazuaki, NAKAMURA Kenta, FUJII Rina 13

How do teachers and under graduates think about teaching moral education ?

OKIBAYASHI Yohei, IKENAGA Maiko, NAKAGAWA Minori, FUJINAGA Keigo
NISHIO Koichiro, SAIKI Hideto 21

Research on “Well-being” and Enhancing Choral Activities 2:

Composition of Scale Models and Analysis of Survey Results

TAKAHASHI Masako, OKIBAYASHI Yohei, SHIRAJI Megumi
FUJIWARA Yuka, HARADA Miho 33

A Consideration for Collaboration System among Three Attached Schools and the Faculty of Education (IV):

To Improve the Quality of Living Environment Studies and the Period for Integrated Studies

FUJIKAMI Mayumi, ODA Taisuke, TOKUNAGA Mai, KUBOTA Daiki
KAWAMURA Takuya, SHIMOKAWA Masayuki, SAIKI Hideto 41

Development of Japanese language classes that promote metacognitive transformation

BANDO Tomoko, SUMIKAWA Kaho 53

A physical education class using Onigokko to improve physical fitness and formative class

evaluation of middle grade elementary school students

AOYAMA Sho, KIDA Masahiro 63

Educational Practice Research

A Study on an Experiment using Compression Springs (I):

A Case Study of “Function of force” in the 1st Grade Lower Secondary School Science

TANAKA Satoshi, SAIKI Hideto 69

A Study on an Experiment using Compression Springs (II) : A Case Study of “Function of force” in the 1st Grade Lower Secondary School Science	TANAKA Satoshi, SAIKI Hideto	79
On the Originality of Art Education in Modern Asian Area case study in Southeast Asia and East Asia	FUKUDA Takamasa	89
On the Teaching Materials Focus for Art Creativity in Preschool and School Education	NISHIMURA Yuko, FUKUDA Takamasa	97
Souvenir product design for Akiyoshidai areas I : Through project-based design learning	HIRAKAWA Kazuaki, NAKANO Yoshihisa	107
Improving the Quality of Learning through Collaboration between the Community and Schools: Enhancing Organizational and Educational Capabilities through Community Engagement	SHIRAISHI Shinya, MATSUDA Yasushi	117
Students council lead the community through activities with the locals	IMURA Maki, SAKAMOTO Tetsuhiko	127
On the Three-dimensional, Space, Environment for Art Education	ADACHI Naoyuki, FUKUDA Takamasa, NANBA Akito	137
On the Viewpoint of Improving Art and Handicraft Teaching in Elementary School Based on Present Course of Study	SASAKI Shinji, FUKUDA Takamasa	143
Children’s Learning and Development in Community Schools: Leadership of Education Committees and Community Schools Executives in Solving Educational Issues	MONDE Satoshi, SHIZUYA Satoru	151
Promoting integrated elementary and junior high school education to foster “ability to relate”: Focusing on Students’ Autonomy	NOMO Kazumi, SHIZUYA Satoru	161
Possibilities of special activities based on school evaluation surveys: Focusing on the designing of “Challenging Projects”	KOSUGI Shinji, SAIGO Hiroe	173
English Learning Difficulties identified through the questionnaires for high school students (1)	FUJIMOTO Yukinobu, OGAWA Hiroto	181
Support for Childcare Workers’ Verbalization of Early Childhood Care and Education: Based on Children in Their Classes During In-service Training	NAKASHIMA Hisako	193

Practical research into arts education incorporating STEAM education	NAKAMURA Kenta	203
Promotion of reported verbal behavior for autistic students in special needs schools: Through in-real methods and preference activities that utilize students' interests	OTSUKA Josuke, SUTO Kunihiro	211

教育実践総合センター研究紀要 編集規程

1. 研究紀要の刊行

- (1) 山口大学教育学部附属教育実践総合センター（以下「センター」と記す）は、研究紀要を原則として年度につき2回刊行する。
- (2) 研究紀要の名称は「山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要」とする。
- (3) 研究紀要は、教育実践に関する未公刊の論文で構成し、下半期の刊行においては当該年度の「センター」の活動内容を報告する年報を加える。

2. 編集委員会

- (1) 研究紀要の編集は、編集委員会を設置して行う。
- (2) 編集委員会は、山口大学教育学部附属教育実践総合センター運営委員会規則第3条第1号、同第2号、同第3号の委員をもって構成し、センター長を委員長とする。
- (3) 編集委員会は、原稿の募集、掲載論文の採択、研究紀要の構成、研究紀要の体裁等に係る判断を行う。
- (4) 編集委員会は、掲載論文の採択に係る審査を行うにあたり、投稿者に対し、投稿原稿の一部修正を求めることができる。

3. 投稿資格

- (1) 研究紀要に投稿することができる者は、下記の各項の該当者とする。ただし、第3項および第4項の場合については、第1項または第2項の者を共著者とすることを条件とする。
 - ① 山口大学教育学部および附属学校園の教員
 - ② センターの客員教授、客員准教授、研究員
 - ③ 山口大学大学院教育学研究科の大学院生
 - ④ 編集委員会が特に認めた者
- (2) 研究紀要1号あたりの投稿数は、筆頭者としては1名2論文までとする。

4. 経費負担

- (1) 研究紀要の発行に係る経費は、センターの運営費をもって充てる。ただし、執筆要項に示すページ数を越える場合、図版、写真等の掲載で別に経費を要する場合は、執筆者の実費負担とする。
- (2) 別刷は、執筆者の実費負担とする。

5. 著作権

- (1) 研究紀要に掲載された論文の複製権、公衆送信権は、山口大学教育学部に帰属する。ただし執筆者（共著の場合は筆頭者）の申し出により、公衆送信権を行使しないことができる。
- (2) 前号の規定は、執筆者自身による複製、公衆送信等を妨げない。
- (3) 論文執筆における他の著作物との関係への対処は、執筆者が責任を負う。執筆者は著作権その他倫理規範に反する問題が生じないように十分に配慮しなければならない。

6. その他

- (1) 各論文の投稿原稿は、別に定める執筆要項にしたがって作成するものとする。
- (2) 執筆者による校正は、初稿までとする。
- (3) 研究紀要の刊行に関する事務は、教育学部事務局において処理する。

教育実践総合センター研究紀要 執筆要項

1. 原稿は、原則として文書作成PCソフトで作成し、印字した原稿に文書ファイルを保存した記録メディア（CD等）を付けて提出する。
2. 原稿の基本書式は、A 4 サイズで横書き、用紙余白は上下左右すべて20mm、MS 明朝体10ポイントで横48字×縦48行とする。
3. 原稿の枚数は、本文、標題、要旨、図版、注等すべてを含め、原則10ページまでとする。
4. 原稿の記載順序は、最初のページに、題目、執筆者名、英文題目、英文執筆者名、キーワード（5つ以内）を記載し、次に本文、その後に注・参考文献とする。ABSTRACTを記述する場合は、原稿の最末尾とする。
5. 本文の見出しは、以下の階層で表すものとする。
階層1 1. 2. 3. (11ポイント MS ゴシック体 上下の行をそれぞれ1行あけ)
階層2 1－1 1－2 1－3 (10ポイント MS ゴシック体 上の行のみ1行あけ)
階層3 1－1－1 1－1－2 (10ポイント MS ゴシック体)
6. 注・参考文献は本文の最後一括して記載する。その記述様式は各論文の関連する専門分野の様式に従うものとし、著者名、文献タイトル、発行所、発行年を必ず含むものとする。
7. 図・表・写真等は本文の内容と関連したページに掲載し、通し番号と表題を示す。提出にあたってはそのまま製版できるように作成するものとする。
8. 他の著作物の図表や文章等から、引用の範囲を超える転載を行う場合は、著者自身の責任で書面による転載許諾を得るものとする。
9. 人物の顔で個人が特定可能な写真を掲載する場合は、著者自身の責任で書面により関係者の掲載許諾を得るものとする。
10. その他
(1) 各号の原稿募集、原稿締切は、編集委員会の決定するところによる。
(2) 原稿を英文で作成する場合も、この要項を準用することを基本とする。

附属教育実践総合センター
研究紀要編集委員会

委員長	野村厚志（センター長）
委員	鷹岡 亮 霜川正幸 河村直子 田中亜矢巳
事務員	久保田尚子

著作権について

1. 本紀要の著作権は電子化を含めて、山口大学教育学部が担当する。
2. 各論文の利用は非営利目的に限る。利用にあたっては以下の点を守らねばならない。
 - I 引用する場合には著作者及び出典を明示すること。
 - II 著作権所有者（著作者）の許可なく標題及び内容を改変しないこと。
 - III その他著作権法の規定を遵守すること。

2025年 9 月25日 発行

山口大学教育学部附属教育実践総合センター
研究紀要 第60号

編集者 山口大学教育学部
附属教育実践総合センター研究紀要編集委員会
発行者 〒753-8513 山口市大字吉田1677-1
山口大学教育学部附属教育実践総合センター